

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公開番号】特開2008-148960(P2008-148960A)

【公開日】平成20年7月3日 (2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2006-340644(P2006-340644)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月18日 (2009.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に区画形成されて遊技者の操作によって遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域内に配置されて遊技球の入賞が可能な始動入賞口と、該始動入賞口に入賞した遊技球を検出する始動検出手段と、該始動検出手段による遊技球の検出に応じて所定の開閉動作が可能な開閉部材、該開閉部材が開くことで遊技球が入賞可能となる球受入口、該球受入口から入った遊技球を転動させる転動部、該転動部を転動した遊技球の受け入れを可能として遊技者に利益を付与する利益付与状態が発生する特定受入領域及び前記利益付与状態が発生しない普通受入領域を有し、前記遊技領域内の前記始動入賞口とは異なる位置に配置された入賞装置と、を備えた遊技機であって、

前記転動部は、前記特定受入領域又は前記普通受入領域への遊技球の送り込みを個々に行う第 1 及び第 2 の転動部から構成され、前記第 2 の転動部は、前記第 1 の転動部に比べて前記特定受入領域に遊技球を送り込む割合が高く設定され、

前記入賞装置は、

前記球受入口に入った遊技球を前記第 1 の転動部又は前記第 2 の転動部のいずれかに振り分ける球振分手段と、

該球振分手段によって遊技球が前記第 2 の転動部に振り分けられたことを検出する第 2 転動検出手段と、

電氣的駆動源の駆動に基づいて、前記第 2 の転動部を遊技者側から視認困難に被覆する閉塞位置と、前記第 2 の転動部を遊技者側から視認できるように開放する開放位置と、の間で移行可能に設けられた第 2 転動開閉部材と、

前記電氣的駆動源の駆動を制御することで、前記第 2 転動開閉部材の前記閉塞位置と前記開放位置との間の移行動作を制御する移行制御手段と、を備え、

前記移行制御手段は、前記第 2 転動検出手段の検出がないときは、前記第 2 転動開閉部材を前記閉塞位置に移行させ、前記第 2 転動検出手段の検出があると、前記第 2 転動開閉部材を前記閉塞位置から前記開放位置に所定期間移行させることで、前記第 2 の転動部での遊技球の転動を遊技者側から視認可能にすることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記球振分手段は、上面が遊技球の転動面となる横長の棒形状をなし、電氣的駆動源の駆動に基づいて支軸を中心に回動自在に設けられた振分転動部材から構成され、

該振分転動部材は、前記支軸を中心とした一方向への回動により二方向における一方に下り傾斜した第１の転動位置と、前記支軸を中心とした他方向への回動により二方向における他方に下り傾斜した第２の転動位置との間で移行可能であり、前記第１の転動位置に移行した状態で前記入賞装置に入った遊技球を前記第１の転動部側に振り分ける一方、前記第２の転動位置に移行した状態で前記入賞装置に入った遊技球を前記第２の転動部側に振り分けることを特徴とする請求項１記載の遊技機。

【請求項３】

前記遊技機は、電氣的駆動源の駆動を制御することで前記振分転動部材の転動位置を前記第１の転動位置と前記第２の転動位置との間で一定の周期をもって交互に切り替える振分制御手段を備え、

該振分制御手段は、前記振分転動部材を前記第２の転動位置に切り替える時間を前記第１の転動位置に切り替える時間に比べて短く設定していることを特徴とする請求項２記載の遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

（解決手段５）

解決手段１乃至解決手段４において、前記球振分手段は、上面が遊技球の転動面となる横長の棒形状をなし、電氣的駆動源の駆動に基づいて支軸を中心に回動自在に設けられた振分転動部材から構成され、該振分転動部材は、前記支軸を中心とした一方向への回動により二方向（例えば、左右方向）における一方に下り傾斜した第１の転動位置と、前記支軸を中心とした他方向への回動により二方向における他方に下り傾斜した第２の転動位置との間で移行可能であり、前記第１の転動位置に移行した状態で前記入賞装置に入った遊技球を前記第１の転動部側に振り分ける一方、前記第２の転動位置に移行した状態で前記入賞装置に入った遊技球を前記第２の転動部側に振り分けることを特徴とする請求項１記載の遊技機。

この場合、振分転動部材の二方向への傾斜によって遊技球を振り分けるというシーソー式の振分転動部材によって球振分手段を構成することで、単純明快な遊技球の振り分け構造とした上で、遊技球の振り分け動作に対する視覚的な興趣の低下を抑制することができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

（解決手段６）

解決手段５において、電氣的駆動源の駆動を制御することで前記振分転動部材の転動位置を前記第１の転動位置と前記第２の転動位置との間で一定の周期をもって交互に切り替える振分制御手段を備え、該振分制御手段は、前記振分転動部材を前記第２の転動位置に切り替える時間を前記第１の転動位置に切り替える時間に比べて短く設定していることを特徴とする請求項２記載の遊技機。

この場合、特定受入領域に遊技球を送り込む割合が高く設定された第２の転動部への遊技球の振り分け比率を低く設定することで、より一層第２の転動部に遊技球が振り分けられることに対する遊技者の期待感を高めることができ、遊技球の振り分けに対する興趣の低下を抑制することができる。